

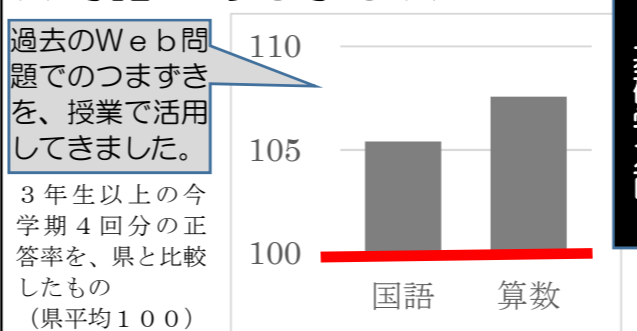
2学期の子供の育ちと伸びしろ



★健やかな体づくり★



★対話のある学び★



★学習の土台となる基礎学力は、県Web配信問題の正答率を見る限り、県平均以上です。課題として、別の言葉(別の具体例、短い言葉)や図表に【置き換え】て考える力が挙げられます。というのは、文章や相手の話を受け止めたことを、今度は相手に「伝える」ように表現を工夫することが重要だからです。

★児童アンケートから次のことが明らかになりました。

- 前期に比べ、学習の課題を意識して発言しようとする意欲は向上しています。この「意欲」を下支えする対話スキルの活用も向上しました。
- 友達の考えに「笑顔や頷き」で返すことが日常化してきており、子供の同士の受け答えの言葉や表情に**柔らかさ**が多く見られます。

★発言する子どもの9割は、対話スキルを活用しています

自分の考えを発表する意欲を止めるもの(ポトルネック)は!

対話スキル

★部分をご覧ください

「禁止」から「活用」へ

生活習慣については、「メディアの禁止」は手取り早い指導です。でも、長続きはしません。空いた時間を「どう有効活用するか」指導が必要です。須田小学校では、保健授業等で「時間編集力」として全学年で指導してきました。家庭学習や読書の面からも検討してまいります。

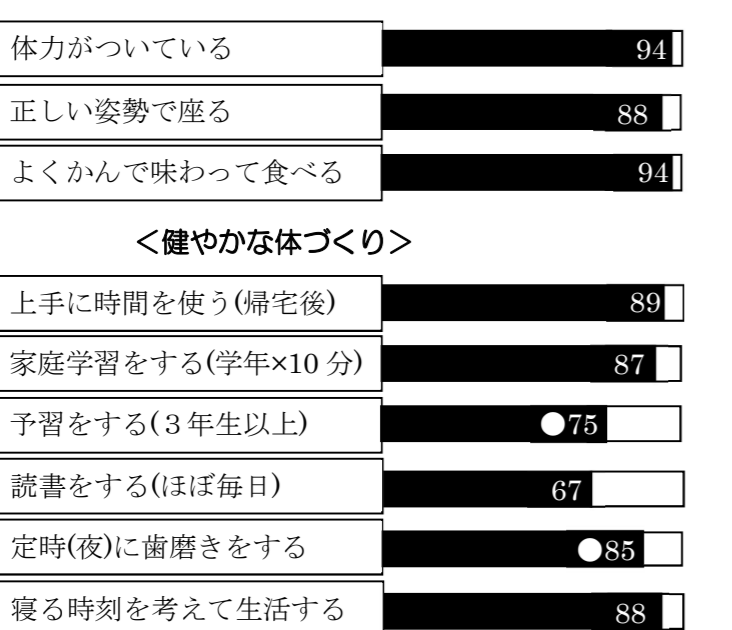
★部分をご覧ください(学校評価委員会)



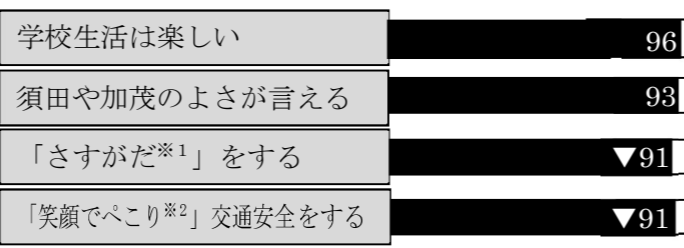
==== 学校評価 (児童アンケート) 結果 ====

◆グラフの黒の部分、全校児童に占める肯定的評価の割合を示す。(H30.12実施)

◆前期との比較…5ポイント以上上昇(●) 下降(▼)



<求める須田っ子の姿>



<対話のある学び>



新学年にお示しした「通知表」となる今回の結果を真摯に受け止めています。三学期さらには次の年度に向けた「次の一手」を導き出していきたいと思っております。今回は、保護者アンケートも実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。保護者アンケートの結果につきましては、今回の学校便りの答内容から、前回のアンケート結果と同様に、子供が発言しなくと対比する方たちで「子供が発言しなくとめてみました。家庭生活面では「マイナ等からくる「ためらい」スレビュー」でした。特に「ただではない」というに、家庭学習や読書習慣では「マイナス20ポイント」をどう言ったらいいのかわかりませんでした。そこで、考えのどこを質問するまで子供目線の評価で「よい」「まあ」「まあ」等、大人でも何度評価結果(体力テスト)は、子供も同じです。今回の調査で、「対話スやWeb配信問題結果」

「伝える」から「伝える」へ

児童アンケートの結果、前回のアンケート結果と同様に、子供が発言しなくとめてみました。家庭生活面では「マイナ等からくる「ためらい」スレビュー」でした。特に「ただではない」というに、家庭学習や読書習慣では「マイナス20ポイント」をどう言ったらいいのかわかりませんでした。そこで、考えのどこを質問するまで子供目線の評価で「よい」「まあ」「まあ」等、大人でも何度評価結果(体力テスト)は、子供も同じです。今回の調査で、「対話スやWeb配信問題結果」

★部分をご覧ください

「禁止」から「活用」へ

生活習慣については、「メディアの禁止」は手取り早い指導です。でも、長続きはしません。空いた時間を「どう有効活用するか」指導が必要です。須田小学校では、保健授業等で「時間編集力」として全学年で指導してきました。家庭学習や読書の面からも検討してまいります。

★部分をご覧ください(学校評価委員会)

新学年にお示しした「通知表」となる今回の結果を真摯に受け止めています。三学期さらには次の年度に向けた「次の一手」を導き出していきたいと思っております。今回は、保護者アンケートも実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。保護者アンケートの結果につきましては、今回の学校便りの答内容から、前回のアンケート結果と同様に、子供が発言しなくとめてみました。家庭生活面では「マイナ等からくる「ためらい」スレビュー」でした。特に「ただではない」というに、家庭学習や読書習慣では「マイナス20ポイント」をどう言ったらいいのかわかりませんでした。そこで、考えのどこを質問するまで子供目線の評価で「よい」「まあ」「まあ」等、大人でも何度評価結果(体力テスト)は、子供も同じです。今回の調査で、「対話スやWeb配信問題結果」

果)を加えた分析結果をお示しします。

体力面や基礎学力面では、全体的に高まりが見られます。個々の子供に「次の一手」を取り組んでいきたいと思っております。一月号で示してまいります。

2学期

- >授業日数: 76日
- >授業時間: 約400 冊
- >給食残量: 約2%

今後は、「対話スキル」を、相手の考えを受け止める際にも活用(聴く・訊く)すること、自分の考えをより深め、相手に「伝える」表現が身に付くよう指導を進めてまいります。

キル」を活用して、自分の考えを相手に「伝える」子供が増加している点が見られます。

【備考】※1 「さすがだ」; 自分のよさを他の人にも生かすこと

※2 「笑顔でぺこり」; 心に余裕と感謝の気持ちで道路を渡ること